

東京 2025 世界陸上財団 役員等行動規範

はじめに

2025 年に東京で開催される世界陸上は、200 を超える国・地域から約 2,000 人の選手が出場する、陸上競技の世界最高峰の大会です。

世界陸上を東京で開催することは、世界最高水準の選手による熱戦を間近で見て応援する絶好の機会となります。大会を契機として、次代を担う子供達に感動や勇気を与えると同時に、都民・国民のスポーツや健康づくりへの意識を高めるほか、東京の都市としての魅力の発信や社会・経済の活性化にもつながるなど、数多くのポジティブな影響が期待されます。

こうした意義のある大会を成功に導いていくには、都民・国民、そしてあらゆるステークホルダーの理解と協力が不可欠です。そのため、当財団は、公正で信頼される存在でなければならず、当財団の役員等は、大会の準備・運営に当たり、その社会的な責任と公的な役割を自覚しなければなりません。

すべての役員等が、この行動規範に沿った行動を取り、当財団を、適正なガバナンスが確保され、同時に、スポーツの根幹であるフェアネスを体現した信頼される組織とすることで、都民・国民と共に大会を作り上げ、その先にある大会開催の果実を社会に還元していくことが必要です。

そのため、当財団役員等は、この行動規範の内容を十分に理解し、日々の職務や活動の中でこれを実践することとします。

役員等は、それぞれに求められる法令上の役割・義務に加え、以下に掲げる事項を十分に自覚し、大会の成功に向け、法令等の遵守はもとより、公正で責任ある行動をとるものとしします。

1. 取組姿勢

- 大会の開催趣旨や、社会の期待と自らに期待される役割をよく理解し、誠実に職務に取り組みます。
- 公益性の高い事業であることを自覚し、使命達成に向けて、規範意識を高く持ち、自律的に行動します。
- 理事会や評議員会等の会合には積極的に参加します。
- 組織運営に当たり、不断の見直しを行い、運営改善につなげます。
- 対外的な説明責任を常に意識し、組織運営における透明性の向上を図ります。
- 各ステークホルダーと建設的な対話を行い、職務を遂行します。
- 各種研修については、積極的に受講します。
- 各種調査や監査には全面的に協力します。

2. コンプライアンス

- 法令等の定めを遵守し、違法又は反倫理的な行為は一切行いません。また、東京都が策定した「国際スポーツ大会への東京都の関与のガイドライン」及び当財団における職務執行上の各種ルールや方針等を遵守します。

- 当財団の利益に反する行為や不適切な働きかけ、また、それらが疑われるような行為は一切行いません。
- 特定の者への利益供与は一切行いません。また、特定の者からの利益供与は一切受けません。
- 組織運営に当たり様々なリスクを特定し、その管理・統制に努めます。
- 個人情報や職務上の秘密情報は厳重に管理し、第三者に漏洩することはありません。
- 反社会的勢力とは、いかなる関係も持ちません。
- 不正行為を発見した場合は、当財団のルールに従い、適切かつ迅速に対処します。また、不正行為に係る調査に協力します。

3. 組織風土・職場環境

- お互いを尊重し、コミュニケーションが盛んで、風通しの良い健全な組織風土を目指します。
- 誰もが生き生きと働くことのできる、開かれた明るい職場環境づくりに貢献します。
- パワーハラスメントやセクシャルハラスメントなど、一切のハラスメントを行いません。
- 個人のプライバシーを尊重します。
- ライフ・ワーク・バランスを自ら実践し、率先して「働き方改革」に取り組みます。

4. 人権や多様性の尊重

- 多様性を認め、人種、肌の色、性別などを理由とした一切の差別を行いません。
- すべての人々の人権・個性を尊重します。
- パワーハラスメントやセクシャルハラスメントなど、一切のハラスメントを行いません。(再掲)